

BRAF V600 変異陽性の低悪性度神経膠腫（LGG）有する小児及び青少年患者を対象とするトラメチニブとの併用によるダブラフェニブの効果を評価する第 II 相，非盲検，国際共同試験のお知らせ

BRAF V600 変異陽性の低悪性度神経膠腫（グレード I 又は II）に対するトラメチニブ（MEK 阻害薬）とダブラフェニブ（BRAF 阻害薬）併用治療の第 II 相臨床試験を開始しました。他のがん種において BRAF 阻害薬と MEK 阻害薬を併用すると腫瘍の増殖速度はそれぞれ単剤で用いた場合より抑制されることが示されており、神経膠腫に対してもその効果が期待されています。

この治験は、低悪性度神経膠腫に対する標準治療とされているカルボプラチンとビンクリスチン併用治療とダブラフェニブ（BRAF 阻害薬）とトラメチニブ（MEK 阻害薬）併用治療を比較して安全性、有効性を確認する試験です。ノバルティス ファーマ株式会社行う企業治験であり、国際共同治験として行われています。

対象となる患者さん

- 12 ヶ月以上 18 歳未満
- BRAF V600 変異陽性の低悪性度神経膠腫である
- 病気が切除不能であるが治療が必要である
- 放射線治療や化学療法を受けていない

（この他にも治験に参加いただくための基準があります。）

希望される方、または詳しく内容をお知りになりたい方は、当院小児血液腫瘍科の代表メールアドレスまでお問い合わせ下さい。また当院以外の病院でも実施予定ですので、当院以外の病院を紹介させていただく可能性もあります。

お問い合わせ先 ⇒ ocghpho@umin.ac.jp

治験へ参加の可否を判断するために何度かご来院いただくことがありますが、診療費は通常通り患者様のご負担(保険診療)となりますので予めご了承ください。

なお、この治験に参加いただける条件等を確認させていただくことがありますが、提供いただいた個人情報は、治験への参加のためだけに利用し、情報漏洩や他の目的で利用することは一切ありません。

大阪市立総合医療センター 小児医療センター 治験責任医師 原 純一